

つきいち

月1原発映画祭 + 交流カフェ

～映画でみる・知る・感じる原発～



会場：谷中の家（台東区谷中3-17-11）

3.12を忘れない

第11回 3月2日(土) 14:00～17:00 (開場13:30)

福島の子どもたちの現在、そして未来

福島に生きる人びとと手を携え、共に歩くために

映像とお話：藍原寛子さん（フリージャーナリスト、福島在住）



2011年5月、マスクをして下校する子どもたち。今は…？

福島第1原発事故から2年、放射能汚染に関する報道はめっきり減りました。

福島の子どもたちは今どんな状況に置かれているのでしょうか？

子どもたちを放射能から守るために、どんな取り組みがなされているのでしょうか？

福島で取材活動を続けているジャーナリスト、藍原寛子さんをゲストに迎え、

取材映像をまじえてお話をうかがいます。

私たちにいま何ができるかをいっしょに考え、語り合いませんか？



(左から) 公園に設置された時間制限の看板(福島市)、幼稚園の室内の砂場で遊ぶ子どもたち、公園に設置されたモニタリングポスト(福島市)

● 藍原寛子さんからのメッセージ ●

震災後、福島県民は支援される側となって長い間を過ごしました。今も、もちろん支援は必要です。でもこれからは支援者(東京など福島県外の人々)、支援される人(福島県民)としての関係ではなく、同じ目線とともにこの原発事故後を歩く本当の仲間になっていただきたいと思います。福島で起きていることは、間違いなく、将来の東京でも起きます。環境汚染、公害問題にどう取り組むのか。人権、人間の尊厳が脅かされる問題にどう取り組むのか。普遍性をもって語ることが、今いかに大事か。福島と東京はどこも変わらないということをご理解いただくことだと思います。



[第1部] 14:00～15:00 藍原寛子さんによる映像とお話 ■参加費：500円

[第2部] 15:15～17:00 交流カフェ ■飲食代として500円～カンパをお願いします

■会場：谷中の家（台東区谷中3-17-11）

メトロ千代田線千駄木・JR日暮里・JR西日暮里下車徒歩7分。
よみせ通り、延命地蔵を東へ入る、2筋目を南へ入って東側。
※築54年 耐震補強民家のコミュニティ・スペースです。

■定員：30人（要予約）

■申込み方法：以下のいずれかの方法で予約をしてください。

① ひがし広場のHPの申込フォームから

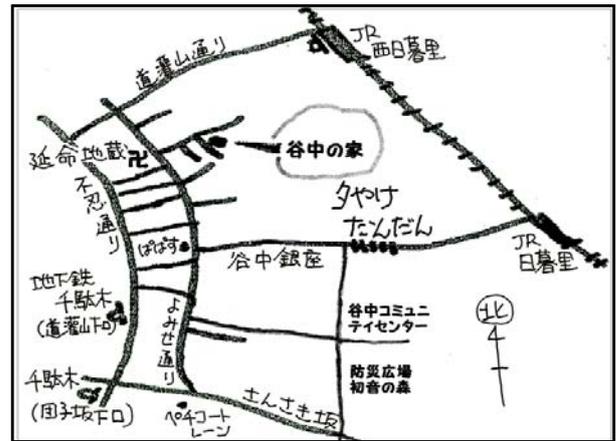
<http://kokucheese.com/event/index/75586/>

② メール masa5884@y8.dion.ne.jp

（件名を「月1原発映画祭申込み」としてください）

③ 電話 050-3059-6328（小林）

■お問い合わせ：電話090-1265-0097（植松）



藍原寛子さんプロフィール 福島生まれ、元福島民友新聞社記者。マイアミ大学客員研究員。フィリピン大学客員研究員。この間、米国の臓器移植の現状をレポートした連載や、北米に渡った福島県民の歴史をつづった連載「波濤の向こうに」などを紙上でレポート。フリーランスのジャーナリストから国会議員公設秘書を経て、再びフリーランスのジャーナリスト。現在の仕事は、日経ビジネスオンライン「フクシマの視点」、ビデオニュース「福島報告」、ビッグイシュー日本版「被災地から」、朝日新聞ウェブRONZA×SYNODOS「復興タイムズ」に定期出稿。その他、単発で河北新報、週刊朝日などに投稿。

第12回 4月6日(土)「フタバから遠く離れて」上映+船橋淳監督トーク

昨年11月に開催した「フタバから遠く離れて」1日リレー上映会が大変好評だったため、谷中の家でアンコール上映をします。船橋監督を囲んでじっくり語り合う時間をもちますので、ぜひご参加ください。

◆
[内容] 福島第1原発の事故後、双葉町は町全体が警戒区域となり、1423人が約250km離れた埼玉県加須市の旧県立騎西高校へ避難、地域社会丸ごとの移転という前代未聞の事態となりました。故郷を遠く離れた土地で、避難生活を送る福島県双葉町民の日常を9か月にわたって記録したドキュメンタリーです。

■開催時間、参加費は追ってHPにてご案内いたします。

お問い合わせは、電話090-1265-0097（植松）まで。



(2012年/日本/96分/<http://nuclearnation.jp/>)

◆ 月1原発映画祭とは

毎月1回（第1土曜日予定）、原発に関連した映画・映像を上映し、ゲストを迎えてお話を聞いたり、意見交換・情報交換をしたり、日ごろの思いや疑問を語り合ったりする交流の場を提供します。脱原発を願う人も、脱原発に疑問を持つ人もお気軽にご参加ください。毎月のご案内やこれまでのレポートはひがし広場HP (<http://www.jtgt.info/>) からご覧になれます。

◆ 地域から未来をつくる・ひがし広場（略称・ひがし広場）に参加しませんか？

地域から未来をつくる・ひがし広場は、文京区、台東区、北区、足立区などの地域の住民有志が集まってつくっているネットワークです。原発住民投票条例をつくるための署名活動から生まれました。署名集めから都議会で決すプロセスで、私たちは1人ひとりが主体的に考え、行動して社会に働きかけていくことの大切さを知り、同時にそれを地域のつながりを生かして進めていくことの楽しさを知りました。"社会の現状を知る、学ぶ、そして変えていくために主体的に行動する"という趣旨のもと、メーリングリスト(ML)で随時情報交換をしながら勉強会などをおこなっています。HPのお問い合わせフォームからML登録申し込みできます。ぜひ一緒に！

主催 地域から未来をつくる・ひがし広場
<http://www.jtgt.info/>